

# なかしべつ 議会だより

No.126  
令和2年7月



913頭が入牧された開陽台育成牧場（5月22日、25日、26日の3日間）

「この広大な牧場には『三密』も『社会的距離（ソーシャルディスタンス）』も関係ないので、たくさん牧草を食べて伸び伸びと大きく育ててほしいです」と関係者の皆さんはお話されておりました。

**コロナ対策の臨時議会(4月・5月)補正予算を議決しました。(P2)**

**6月定例会 一般会計補正予算 約1億4百万円追加し、  
総額 約166億3千4百万円 (P3)**

**任期最後の一般質問に6名が登壇 (P5~7)**

**議会改革特別委員会 最終報告 (P10)**

## 第1回臨時会

4月23日に開催された臨時会において、補正予算と条例の改正について審議し、議決しました。

### ■令和2年度中標津町各会計補正予算

#### ◇一般会計補正予算（第1号）

2,597万7千円を追加し、総額141億597万7千円となりました。

#### 補正内容

- |  |           |
|--|-----------|
| ・ 保育所等への新型コロナウイルス感染拡大防止に係る支援事業                             | 1,197万7千円 |
| ・ 中標津町飲食店新型コロナウイルス対策緊急支援補助金<br>（テイクアウト・デリバリー等のパンフレット）      | 175万円     |
| ・ 中標津町飲食店新型コロナウイルス対策経営基盤安定化給付金<br>（夜間営業のバー・スナック等に10万円の給付金） | 1,225万円   |

### ■条例の一部改正

◇中標津町町税条例等の一部を改正する条例制定について 他5件

### ■報告

◇専決処分の報告について（中標津町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定）

## 第2回臨時会

5月25日に開催された臨時会において、補正予算について審議し、議決しました。

### ■令和2年度中標津町各会計補正予算

#### ◇一般会計補正予算（第3号）

5,591万9千円を追加し、総額165億3,026万1千円となりました。

#### 補正内容

- |  |         |
|--|---------|
| ・ 中標津町新型コロナウイルス対策地域活性化支援補助金<br>（TAXIイーツ・感染症に負けない地域社会の構築）     | 500万円   |
| ・ 中標津町新型コロナウイルス対策経営基盤安定化給付金<br>（ホテル・旅館・食堂・喫茶店・タクシー・カーヘルパーなど） | 3,950万円 |
| ・ 新型コロナウイルス対策介護施設感染防止対策事業                                    | 523万6千円 |
| ・ 新型コロナウイルス対策救急隊員感染防止対策事業                                    | 618万3千円 |

### ■承認

◇専決処分の承認を求めることについて（令和2年度中標津町一般会計補正予算（第2号））  
23億6,836万5千円を追加し、総額164億7,434万2千円となりました。

#### 専決内容

- |  |
|--|
| ・ 特別定額給付金事業（町民1人に対し10万円の給付金）<br>23億3,496万5千円（事務費1,396万5千円・事業費23億2,100万円） |
| ・ 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業<br>3,340万円（事務費140万円・事業費3,200万円）                     |

# 6月定例会 全議案可決

令和2年6月定例会を6月8日から12日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

## ■令和2年度中標津町各会計補正予算

### ◇一般会計補正予算（第4号）

1億395万2千円を追加し、総額166億3,421万3千円となりました。

補正内容 経済活性化プレミアム付商品券発行事業、経営持続化応援補助金  
医療技術職員養成修学資金貸付金 ほか

### ◇町立中標津病院事業会計補正予算（第1号）

857万円を追加し、総額48億3,239万円となりました。

補正内容 発熱外来、入院病床、院内感染防止等経費

## ■条例の一部改正

### ◇特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

（町長給料月額7月分を30%減額）

### ◇中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

（議員報酬6月～8月分を10%減額） 他8件

## ■報告

### ◇令和元年度中標津町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

### ◇令和元年度中標津町営牧場特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

### ◇令和元年度中標津町一般会計継続費繰越計算書の報告について

## ■その他

### ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について（武佐辺地）

### ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について（当幌辺地）

### ◇工事請負契約の締結について（旧清掃センター解体工事）

### ◇工事請負契約の締結について（東中団地新築建築主体工事（1工区））

### ◇工事請負契約の締結について（中標津町水道施設電気計装設備外更新工事）

### ◇工事請負契約の締結について（中標津下水終末処理場用水電気設備外更新工事）

### ◇財産の取得について（除雪グレーダ購入）

### ◇財産の取得について（除雪トラック購入）

### ◇財産の取得について（除雪トラック購入）

### ◇農業委員会委員の任命について（18名）

任期  
令和2年7月20日から  
令和5年7月19日まで

田中世一氏	須原康智氏	笠原光博氏	和泉光広氏	横田千秋氏	瀧本和男氏	二瓶裕貴氏	武田健治氏	長谷川孝二氏	谷川好則氏	小林亨氏	田中洋希氏	本田信幸氏	竹村聡氏	後藤宏幸氏	高橋正一氏	中村正生氏	赤波江信二氏
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	--------

氏名  
◆農業委員会委員の任命に  
同意しました

人事案件

## 一般行政報告

### 一、新型コロナウイルス感染症対策に関する要請活動について

3月20日佐藤英道衆議院議員の来町に際し地元経済団体等との意見交換会において、中標津町商工会長・中標津飲食業連合会長との三者連名で「新型コロナウイルス感染症特別貸付」の対象事業者全てに特別利子補給制度の要件緩和について要望書を提出しました。

### 二、中標津空港利用促進期成会の要請活動について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中標津空港発着の羽田便・新千歳便が連休・減便され、根室管内市町の自治体病院に派遣される出張医師の移動が制限され、診療体制と病院経営に支障をきたしていることから、4月28日に全日本空輸株式会社及び北海道支店、5月13日には北海道根室振興局長に北海道知事宛の要望書を提出しました。

### 三、作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について

6月1日現在、根室農業改良普及センター発表の農作物生育状況調査によると、5月中旬まで平年を下回った平均

気温などが5月下旬には平年を大きく上回ったことから「牧草」「てん菜」は2日程成長が早まり「サイレージ用トウモロコシ」の一部で播種作業に遅れはありますが「馬鈴薯」の植付「大根」「ブロッコリー」の定植についても、平年通り作業は順調に進んでいるとのことでした。

公共牧場及び各牧野の入牧状況のうち「町営開陽台牧場」は5月22日からの3日間を中心に913頭が入牧しました。各牧野についても町内4箇所約1千300頭程度の入牧頭数になるこの報告を受けおられます。

### 四、生乳の生産状況について

令和元年度の生乳生産量は19万4千676トンで、平成30年度の18万7千258トンに比較し、7千418トン(4.0%増)となりました。今年度も継続し畜産クラスター事業等による施設整備、後継牛の確保を図り目標数量が確保されることを期待しております。

### 五、中標津空港の利用状況について

令和元年度の中標津空港の利用者数は定期便では19万5千300人と、目標の20万人には及ばず前年度を下回る結果となりました。

なお、FDA(フジドリームエアラインズ)が運航した

チャーター便の利用者7千人を加えすと20万2千300人となっております。

新型コロナウイルスの影響により中標津空港発着便については4月9日から東京便、新千歳便の2便の運休が続いており、今年で就航6周年を迎える予定のFDAチャーター便も旅行会社のツアー催行が困難となり、今年度については全て中止となりました。

### 六、新型コロナウイルス感染症について

住民一人当たり10万円を支給する「特別定額給付金」については、6月5日現在で対象世帯数1万1千269世帯のうち、1万287世帯(91.3%)の申請を受け、給付金総額2億2千100万円のうち、6月8日現在で2億5千830万円(80.7%)の給付となっております。引き続き町内の様々な影響を的確に捉え、地域経済の速やかな回復に向けて取り組んでまいります。

### 七、寄贈金品について

3月定例会後、物品12件、現金で6件650万円、ふるさと納税で666件1千24万8千円「新型コロナウイルス対策を応援する町民有志の会」から寄附金として57件830万3千円の寄附が寄せられました。

## 教育行政報告

### 一、令和2年度町立学校学級編制について

小学校及び義務教育学校前期課程の児童数は、前年度対比31名減の1千290名となり、学級数では、普通学級が2学級減の45学級、特別支援学級が2学級減の28学級となりました。

中学校及び義務教育学校後期課程の生徒数は、前年度対比14名減の706名となり、学級数では普通学級が1学級減の22学級、特別支援学級が3学級増の15学級です。中標津農業高校は昨年度より1名少ない2学科44名が新一年生となり、全校生徒は前年度対比15名増の6学級113名となりました。

計根別幼稚園は3歳児から5歳児まで3学級、園児数は前年度対比13名増の39名、教職員4名の体制で幼稚園教育の振興に努めます。

### 二、令和2年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について

町立中学校の今春の卒業生は242名で241名が進学し、30名が中標津農業高校に、148名が中標津高校に進学しております。

中標津農業高校の進路状況は、卒業生23名のうち、大学3名・専門学校5名(80%)進

学率34.8%)が進学し、就職希望者15名のうち、中標津町内11名を含む15名全員(就職率100%)の就職が決定しました。

中標津高校は卒業生183名のうち、国公立大学13名を含む127名(進学率69.4%)が進学し、就職希望者54名のうち、中標津町内31名を含む52名(就職率96.2%)、全卒業生の進路決定率は97.8%となりました。

中標津支援学校は卒業生45名のうち、一般就労者が11名、就労移行支援等福祉的就労に25名、専門学校が2名となっております。

### 三、新型コロナウイルス感染症への対応について

国・北海道および北海道教育委員会からの要請を受け、これまで約3ヶ月間に及び臨時休校を行ってきました。

休校による遅れは、学習面はもとより、運動会・体育祭・修学旅行等の学校行事を2学期以降に延期するなどの調整を図らざるを得ませんでした。また、中体連・高体連・各種大会の中止による児童生徒の心身のケアを考えなければなりません。

今後とも児童生徒にとって健康で充実した学校生活が送れるよう、感染拡大防止に万全を期すると共に学校運営上の工夫に務めてまいります。

## 質問 5Gを活用した町の計画について

答弁 5Gの活用に向け、調査・研究に努めてまいります

宗形 一輝 議員

### 質問

中標津町における5Gの最大の活用方法は超通信・低遅延通信による産業の自動化だと思えます。

この中標津町では酪農・畑作における若手が多くおります。

5Gを活用したIoTなどの最新技術を取り扱い、研究するにはとてもいい地域だと思えます。

自宅のパソコンやタブレットから牧草の管理・採取・作物の生育状況把握までの自動化も注目されているところです。

本町において、5Gを活用した農業を早期に実用化できるよう、他の町との差別化において早期に導入をし、研究していくべきだと思いますが町長はどのような考えでしょうか。

### 町長答弁

広大な面積に農家が点在している農村地域においては、基盤インフラである光



ファイバー網の整備が遅れており、さらに従来の数十倍程度の数の基地局を要することから、多額の経費と維持管理コストが課題となっております。

このような中、早期整備に向け当町のみならず管内全体の地域課題と捉え、国に対し根室総合開発期成会を通じ要望しているところです。

オンライン社会への移行も見据えながら、本町の酪農や畑作といった農業部門における5Gの活用に向け、国への要望と同時にスマート農業の推進に向け、調査・研究に努めてまいります。

## 質問 ボランティア対応用のゴミ袋の配布と処理について

答弁 ボランティア活動の周知方法について検討します

佐藤 武志 議員

### 質問

町民から「ポイ捨てのゴミを拾っているが、自己負担で処分することはおかしい」と指摘を受けました。

釧路市では「ボランティア袋」があり、申請して配布を受け、収集後は回収してくれるとのこと。標津町でも袋が配布されています。

ごみゼロの日や、町内会・企業での清掃活動も定着してきていますが、せっかくの町民個人として町をきれいにしたいという主体的な活動を後押しするためにも「ゴミ袋を用意する必要があり、回収が無理な場合は収集場所を指定しても良い」と思います。

羅臼町では観光客用の「ゴミ袋を100円で販売しています」。

中標津町でも今後キャンピングカー等で訪れる観光客も多いことから参考に検討してはいかがでしょうか。

### 町長答弁

本町の清掃活動では、全町的な「ごみゼロの日」の



活動のほか、町内会・企業の活動も定着しています。毎年春になり、町内会・学校・企業等から事前に連絡頂き、ボランティア袋を配布し環境美化活動が行われています。

一方、個人における日々の活動に対しては、有料のゴミ袋との兼ね合いもありボランティア袋の提供を行っておりませんので、団体やグループによる申し出をお願いしたいと考えております。

ボランティア活動の周知・方法も検討してまいります。なお「観光客用の「ゴミ袋」は経済センター、森林公園、開陽台展望館で販売しています」。

## 質問 コロナ禍以降の町勢進展について

### 答弁 広域連携を図り住みやすさを追求してまいります

松村 康弘 議員

#### 質問

空港を有する我町は、感染地域からの人の往来も多く、爆発的感染が心配されましたが、1月以来今日まで6か月に渡り、知床ナンバー7町において感染が発生していないという、大都市とは真逆の状況が進行中であります。

この事象を積極的に評価し地域からのメッセージとして発信する事で、コロナ禍以降の町勢進展が図れるのではないかと考えるものです。

本来我町は「あつまる町・つながる町・ひろがる町」を目指してきており、そこに戻るためにもコロナ禍以降を見据えて、飲食店や宿泊施設に町民が安心して、そして積極的に利用するんだという気運醸成のために、今こそ効果的な施策立案と実行が求められているのではないのでしょうか。

また、第2波の到来も予想される中で教育委員会の対応はどのように進んでいきますか。

#### 町長答弁

緊急事態宣言は解除され



教育長答弁

感染を防止し、子供達の「学びの保障」を確保し、知育・徳育・体育のバランスを考慮しつつ全力を傾けてまいります。

ましたが、新型コロナウイルスとの戦いは長期化が想定され、その中で今後は地域経済の回復に向けて新たなスタイルを目指さなければなりません。

その中で知床ナンバー7がスタートしており「感染のない地域」についても重要な要素としてアピールし、最初は域内から段階的に誘客の対象を広げ、新たに策定される第7期総合計画にも活かしていきたいらと考えております。

## 質問 新型コロナ感染防止対策と公助について

### 答弁 今後は「共助」「公助」を慎重に検討し取り組みます

高橋 善貞 議員

#### 質問

4月13日、中標津町に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、別海町の清掃会社から次亜塩素酸水（以下「次亜水」と略す）7トンの寄贈がありました。

その後、4月16日から商工会と青年会議所において飲食店・サービスマスターに次亜水の配布が開始され、町民対象には4月14日に中標津町から緊急要請の形で全町内会連合会に要請があり、各町内会が4月21日以降に配布を開始しました。

しかし、4月23日の3合同常任委員会において、行政側に対し配布に関する日程等の情報提供を行うように申し入れを行いました。が、残念ながら町内会未加入の町民に対し次亜水配布の情報提供はされておられません。

「町内会と連携して次亜水を配布する」実に体裁は良いのですが、実際は無償で提供していただいた大量の次亜水を行政で配布できず「町内会に丸投げしただけ」と言われても弁明できないと思います。

行政側からの情報提供が無かったために、町内会に



町長答弁

全町内会連合会と協議の上、決定した次亜水配布であり決して「丸投げ」ではありません。

町内会員以外の周知については中標津町広報の掲載時期を逸しており、FMはな・新聞報道により情報提供を行いました。

今回の場合は「共助」として進めたものと考えており、今後も関係機関と連携を図り、わかりやすい情報発信に努めます。

未加入の58.7%の町民が配布を受けることが出来なかったとしたら、「公助」として、行政で配布すべきだったと私は思います。が町長のお考えをお聞かせください。

## 質問 コロナ下における酪農雇用創出について

### 答弁 農家・農協のニーズに応じ対策を図ります

江口 智子 議員

#### 質問

総務省によれば、4月の完全失業率は2.6%、完全失業者数は前月比6万人増の178万人で、特に就職氷河期と言われる15歳〜24歳の男性に目立っております。

また、多くの自営業者を含む休業者の動向に国も注視している状況にあって、当町においては新規就農や牧場従業員に新たな活路を見出す人材の発掘を積極的にすべきではないでしょうか。

地方創生臨時交付金の活用事例には、「感染症対策も踏まえつつ人手不足で社会的必要性が高い農林水産業への就労を支援」とあることから、このような交付金を活用し、酪農経営基盤の安定を図ることについて町長のお考えを伺います。

#### 町長答弁

現在北海道においては新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外国人技能実習生の受け入れが難しい農業・水産加工業者などで、客が減り人手に余裕のある飲食・観光業などから従業員を向かわせるマッチング

事業があります。

またJA北海道において昨年度から開始している農業人材確保支援事業とも町内両農協への聞き取りでは、現在のところ農家からのニーズがなく活用予定はないとの報告を受けております。

本町における従業員の雇用に関する調査では「一時休業させた」が11件「解雇した」が1件となっております。

今後についても地域の雇用情勢を適切に把握し、産業界の繁忙期・閑散期の差を利用した地域内の労働力の融通や、国が進める農福連携の取り組みなど、コロナの収束後も継続可能な取組について、農家や農協からのニーズに応じ対策を図ってまいります。



## 質問 新型コロナウイルス感染症による町行財政見直しについて

### 答弁 病院の経営改革等により総合的に判断します

柳 信 議員

#### 質問

6月7日現在、全国の新型コロナウイルス感染症死者数929名、北海道は90名です。

3月中旬からの外出自粛は長く、中標津町の宿泊業・サービスマン販売業などに深刻な影響を与えています。

また人の移動制限による流通の変化、海外製品や運送による商品納入遅れも、町民生活に支障をきたしております。

今後の町内企業支援策があればお聞かせください。

町長は3月定例会の施政方針で、行財政運営を維持していくことが困難な危機的状况であると表明しました。

しかし、既存町行財政全般の見直しが必要とされるのではないのでしょうか。

病院への繰出金の一部を今後起こりうる感染症予防対策の継続に寄与すべきと考え、町長の見解をお聞かせください。

#### 町長答弁

宿泊業・飲食業・交通業等への支援として、地域活性化支援補助金及び経営基盤安定化給付金、介護施設への感染防止対策を設け、今定例会の補正予算でも地域経済回復と感染症に強い地域経済の構築を図るための支援経費、医療提供体制の整備による感染症対策経費等を計上しております。

病院への繰出金の一部を感染症対策に活用することは、今年度から取組む経営改革の中で既存予算の見直しを進めますが、地域医療を担う病院経営の面から難しいのが現状であります。



# 常任委員会活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

## 総務文教 常任委員会

### 総務部

#### ●防災について

政府は東日本大震災などから得られた教訓を踏まえ、事前防災・減災等に資する国土強靱化基本法を制定しました。市町村は早急に地域計画の策定を求められており、本町においても国土強靱化法に関する施策を推進することもに予算の要件化等に対応するため「中標津町強靱化計画」を策定します。

#### ●北方領土対策について

令和2年度の四島交流等事業計画については、新型コロナウイルスのため、四島交流訪問事業と四島交流受入事業は当面見合わせとなりました。

#### ●ふるさと応援制度推進事業について

・寄附金の申込状況  
令和2年3月末現在の寄附件数は4千624件、寄附金9千55万1千円、前年度比1.48倍でした。

#### ●令和元年度の取組み

FDAチャーター便搭乗者へのPRを6～9月に、中標津空港発64便で専用チラシを作成し機内配布しました。

#### ●企業版ふるさと納税

令和2年3月末現在、寄附件数7件、寄附金160万円との報告がありました。

### 教育委員会

#### ●広陵中学校長寿命化改良事業について

事業期間は平成31年度から令和6年度で学校・保護者等への周知説明を行い実施設計後、令和3年度のグラウンド



本年度から着手される広陵中学校長寿命化改良事業 完成予想図

改修工事から着手される予定です。

#### ●GIGAスクール構想について

全国一律のICT環境整備が急務とされており、令和5年度までに全学年の児童生徒一人一台の端末を整備するとの説明がありました。

委員会開催 5月15日

(千葉 清正 議員)

## 厚生 常任委員会

### 町民生活部

#### ●介護保険事業について

旧制度の介護予防事業は、基本チェックリストの基準に該当した方が対象事業のサービスを受けるものでしたが、制度改正により介護予防事業は「介護認定者を増やさない、重症化させない」「元気な高齢者を増やすこと」に重点がシフトされており、介護予防サービスや社会参加の場を創設することを町の裁量に委ね実情に応じた介護予防事業に取り組むことから、本町においても制度趣旨に沿った事業の見直しを行う説明を受けました。

#### ●子育て支援事業について

・西児童館の移転と運営

本年10月に旧泉保育園に移転する予定の西児童館について児童館活動と並行して地域町内会・老人クラブ等がサロン利用や休館日は貸館として各種団体の利用、指定避難所兼指定緊急避難所としての機能を持つ複合施設として管理運営するこの説明を受けました。

・特別母子子の家の廃止  
中標津町東一条南三丁目一番地一にある特別母子の家について施設の老朽化が著しく閉館の打診があった為、令和3年3月末をもって廃止するこの説明を受けました。

●**新型コロナウイルスへの対応について（臨時特別給付金）**  
給付対象見込み3千200人、給付額1万円、6月上旬に周知を行い、6月22日に第1回目の振り込みを

開始する予定との説明を受けました。

また、中標津青年会議所協力のもと、町内3か所にて6月13日から次亜塩素酸水を配布するこの説明を受けました。

**町立病院**

●**管理運営について**

病院経営改革に向けた取り組み状況について医師・看護師・技師・事務のスタッフから25名程度を選出し、副院長を委員長とするプロジェクトチームが6月3日に発足し、今後のプロジェクトの運営について説明・協議をしました。

今後は毎週第1水曜日に会議を開催することも検討課題や協議を実施していく予定と説明を受けました。

委員会開催 5月29日

(宗形 一輝 議員)



経営改革に向け始動した町立中標津病院

**産業建設  
常任委員会**

**経済部**

●**新型コロナウイルスへの対応について（町経済への影響調査）**

商工会全会員を対象に調査し、166件の回答があ

り、特に飲食店・ホテル業の収益の減少が目立ち、5月以降については「見通しが立たない」などの報告がありました。

●**空港利用促進について**

感染症対策により3月からの運航便数が激減したことで、前年度を若干下回る利用実績となったこと、出張医師の移動手段の確保や運航再開に向けての要請活動などについて報告を受けました。



5月29日事務所の開所式が行われました

●**岩谷学園誘致について**  
日本語学校の来年4月の開設に向け、ほぼ予定通りに準備作業が進んでいるこの報告を受けました。

**建設水道部**

●**空き家実態調査について**

町内全域で実施し、推定空き家325件、うち58件が所有者不明とのこと、対策の必要性を認識しました。

●**除雪事業について**

除雪、排雪の出勤回数合計は74回で、予算執行額は約1億5千5百万円となり、今後の機材の導入計画の説明を受けました。

委員会開催 5月20日

(飯島 実 議員)

## 議会改革特別委員会審議結果報告

令和元年12月定例会において「議会改革特別委員会」が設置され、令和2年5月25日まで9回の委員会を開催し新たな改革案の方向性について結論を得ましたので、6月定例会において報告しました。

### 改選後に実施する事項

- ・ 議会のICT化<sup>※1</sup>→一般質問や意見書等の全文ホームページ掲載
- ・ 委員会招集等については、可能な議員についてSNS<sup>※2</sup>を利用

### 改選後に議会改革特別委員会を立ち上げ、再度検証を要望する事項

- ・ 議会のICT化→本会議のインターネット中継、SNS発信、タブレット端末等の活用
- ・ 議員定数、議員報酬、常任委員会の活性化、会派制と政務活動費、政治倫理条例の改正、長期欠席議員の報酬減額

### 議会運営委員会に委ねる事項

- ・ 一般質問のあり方
- ・ 議会報告会のあり方
- ・ 通年議会、夜間議会
- ・ 議会基本条例の制定
- ・ 議員間討論
- ・ 委員会での議員同士の討議

※1 ICT～通信技術を活用したコミュニケーション

※2 SNS～登録された利用者同士が交流できるサービス

委員各位から慎重な審議がたびたび求められ、都度そのように配慮しながら議論を進めてきたことから、審議事項の大半が、次期の議会改革特別委員会へ申し送る形となってしまったことは残念でしたが、改選後に改めて行われる議論の叩き台ができたものと確信し、次の議論が円滑に進むための準備が、当委員会の役割であったと考えます。

改選後に時期を見て、改めて議会改革特別委員会を設置されることを議長に要望し、報告いたします。

令和2年6月12日

議会改革特別委員会 委員長 江口 智子

# みんなの声を 国政に

# 意見書

議員から下記意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

## 2021年度国家予算編成に おける教育予算確保・拡充、 就学保障の充実に向けた 意見書

提出者 佐藤 武志 議員

義務教育国庫負担制度は、標準的な教職員数の確保のために国がどの地域でも責任を果たすものであり、教育の機会均等を保障する重要なものとなっております。

また、これは地域主権を保障する制度であり、義務教育に必要不可欠であることから、制度の堅持と国庫負担率を1/3から1/2に還元するなどの制度改善が極めて重要で

す。これらのことから、国においては、左記の項目について実現されますように要望します。

1 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率を1/2に還元されるよう要望します。

2 子どもたちや学校、地域の特性にあつた教育環境を整備し、充実した教育活動を推進するために、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置を実現するよう要望します。

3 文部科学省の2019（H31）年3月の「就学援助実施状況等調査」では、要保護・準要保護率は全国で15.23%と7人に1人、北海道で21.04%と全国で8番目の5人に1人が補助を受けている状況となっております。厳しい実態にあります。国の責任において就学援助制度の堅持、教育予算の十分な確保・拡充、さらに新型コロナウイルス感染症に関わる心のケアや学

習環境整備に必要な支援を要請します。

4 教職員の超勤実態解消に向け、現場の声を反映した実効ある対策を実施するよう要望します。

## 地方財政の充実・強化を 求める意見書

提出者 飯島 実 議員

いま地方自治体には、医療・介護などの社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、より多様化・複雑化した行政需要への対応が求められています。

2020年度補正予算および2021年度の政府予算と地方財政の検討にあつては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に左記の事項の実現を求めます。

1 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の総額を増額すること。交付額の算定にあつては、財政力の弱い自治体においても必要かつ十分な対策を実行できるように、確実な財政措置を行うこと。また、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」についても、総額の増額など、地域に必要な医療提供体制を整備するための措置を講じること。なお、2021年度の地方財政は税収の落ち込みや各種使用料の減免等により大変厳しい歳入不足が予想されるので、これらを補完する財政措置を講じること。

2 社会保障、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要

を的確に把握し、これらに柔軟に対応し得る地方一般財源総額の確保を図ること。

3 とりわけ、子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障関連予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。

4 会計年度任用職員制度における当該職員の処遇改善に向けて、本来の法の主旨に基づく所要額の調査を行い、確実にその財源を確保すること。

5 地方交付税における「業務改革の取組等の成果を反映した算定（トゥランナー方式）」は、地域の実情を無視し、本来交付税に求められる財源保障機能を損なう算定方式であることから、その廃止に向け検討すること。

6 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円について、引き続き同規模の財源を確保すること。

7 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。

8 地域間の財源の偏在性は正にむけては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うこと。また、抜本的な改善を行うこと。また、各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に

支障が生じることをないよう対応を図ること。

9 2020年度の地方財政計画では、依然として4兆5千億円強と前年度を超える規模の財源不足があることから、地方交付税の法定率を引き上げ、臨時財政対策債に頼らない地方財政を確立すること。

## 林業・木材産業の成長産業化 に向けた施策の充実・強化を 求める意見書

提出者 熊倉 重樹 議員

北海道及び中標津町では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、林業事業者の育成など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、計画的な間伐や伐採後の着実な植林を一層進めるため、地方債の特例措置を継続するなど、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。よって、国においては、左記の措置を講ずるよう強く要望する。

1 森林の多面的機能を持統的に發揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2 間伐、植林、種苗生産等を着実に進めるため、「森林の間伐等

3  
 の実施の促進に関する特別措置法」を延長し、同法に基づき森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。  
 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

**新型コロナウイルス感染症対策の充実を求める意見書**

提出者 水石 幸衛 議員

新型コロナウイルス感染症は、社会全体で克服すべき問題であり、国においては2次補正の議論をおこなっている最中ではあるが、更なる対応が必要となってくる。

1 国においては、国民の生命と健康及び財産を守り、不安を解消するため、次の事項について十分な予算措置を行い、早急に追加の対策を講ずるよう強く要請する。

積み上げてきた新型コロナウイルスや感染症予防策に係る情報について広く国民に周知し、科学的知見に基づき冷静な対応を呼びかけることにも、重症化しやす

2 いこの指摘がある高齢者や基礎疾患を有する方々に対する情報提供や必要な支援を行える体制を整備し、その不安の解消を図ること。  
 3 地方自治体、医療機関が行う検査体制の強化や医療体制整備に係る財政的支援や財政措置の充実を図ることにも、不足している消毒液等の医療資材を早期に確保すること。また、福祉関係職場への資材についても同様に確保すること。  
 4 簡易で迅速な診断キットの早期開発や感染の拡大防止に有効であるワクチンを早急に開発すること。  
 5 地域経済への影響を最小限にするため、消費喚起、観光需要の回復に向けた総合的な対策を講ずること。  
 6 学校の再開により牛乳の供給過剰は解消されると思われるが、生乳生産のピークを迎えることから、消費マインドの低下による落ち込みなどの影響により生乳の廃棄などが起きないよう、加工乳への振替等の措置に支援を講ずること。  
 7 再開した学校で、安全・安心の中で児童生徒がもとの学校生活を送ることができるよう、児童生徒の心身のケアや学習活動等に必要なる支援や情報提供を行うこと。

**令和2年4月から6月までの活動報告**

月日	行 事	出席者	月日	行 事	出席者
4月9日	議会改革特別委員会	全 委 員	6月3日	病院改革プロジェクトチーム結成式	正 副 議 長・ 議 運 委 員 長 厚生常任委員長
10日	議会広報特別委員会	全 委 員	4日	議会運営委員会	全 委 員
13日	議会広報特別委員会	正 副 委 員 長	5日	乳牛感謝祭	議 長・ 産業建設常任委員長
14日	中標津町議会議員会役員会	全 役 員	8日	総務文教常任委員会	全 委 員
23日	三合同常任委員会	全 委 員	厚生常任委員会	全 委 員	
	第1回臨時会	全 議 員	産業建設常任委員会	全 委 員	
	中標津町議会議員会総会	全 議 員	議会運営委員会	全 議 員	
	中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟総会（書面会議）	全 議 員	6月定例会本会議（1日目）	全 議 員	
28日	議会改革特別委員会	全 委 員	全員協議会	全 議 員	
5月14日	議会改革特別委員会	全 委 員	9日	厚生常任委員会	全 委 員
20日	産業建設常任委員会	全 委 員	産業建設常任委員会	全 委 員	
25日	三合同常任委員会	全 委 員	総務文教常任委員会	全 委 員	
	第2回臨時会	全 議 員	議会運営委員会	全 委 員	
28日	議会改革特別委員会	全 委 員	12日	全員協議会	欠 席 1 名 員
	6月定例会議件事前説明	正 副 議 長・ 正副議運委員長	6月定例会本会議（2日目）	全 議 員	
29日	厚生常任委員会	全 委 員	議会広報特別委員会	全 委 員	
	岩谷学園ひがし北海道日本語学校 校舎事務所開所式	全 議 員	議会広報特別委員会	全 委 員	
			24日	議会広報特別委員会	全 委 員
			29日	根室北部衛生組合、根室北部消防 事務組合 各臨時会	関 係 議 員

**議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。**

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL (0153) **73-3111**

FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp>

・メールは [gikai@nakashibetsu.jp](mailto:gikai@nakashibetsu.jp)



発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会